科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L1N25 MC2L1N29 MC2L1N30 MC3L1N31 **文化芸術論Ⅰ～Ⅳ**	各学科長　他	オムニバス	1単位	音楽学科・こども学科 未来創造学科	前期～後期	必修				ＢＣ

授業のテーマ及び到達目標	授　業　計　画	
	学修内容	学修内容
数多くの芸術作品を鑑賞することを通して、感受したことや気づいたことを自分の学びに生かす。 一流の芸術家、社会で活躍している先輩、企業人などの生き方から、自分の将来像を見直し、キャリアアップや進路選択に生かす。 地域の文化や歴史について知ることやボランティア活動などを通して、思いやり、判断力、実行力などの人間力を高める。	音楽の探究 【音楽の神髄に迫る】 A　外部団体・客員教授による演奏会 例：出田りあ＆村治佳織デュオコンサート など B　学内会陰層・全学及び各コースによる演奏会 例：教員コンサート ブラスオーケストラ演奏会 各コースコンサート こども学科ミュージックフェスティバル など	自分の探究 【自分の特性を知る】 （体・能力・感性・意欲） A　客員教授による公開レッスン 例：出田りあ客員教授による マリンバ公開レッスン など B　客員教授・特別講師による講座 例：大石　泰客員教授による メディア音楽論講座 など
授業の概要		
一流の演奏や舞台、地域探訪や社会奉仕活動などを体験することによって、音楽家、教育者、社会人としての態度や精神を修得するための教養講座である。 ※授業計画は過年度の内容を例示している。 ※具体的なプログラムはオリエンテーション時に配布する。	文化の探究 【音楽以外の文化にふれ、知見を広げる】 A　舞台芸術（演劇、ミュージカル、映画等） 例：劇団四季ミュージカル など B　日本文化の担い手による演技・演習 例：出田秀尚客員教授による日本の伝統文化講座 講師招聘による講演 など C　地域の文化歴史講座 例：御船の史跡と芸能	社会の探究 【自己と社会との関わりを深め、自分の将来を考える】 A　教育支援・社会支援などのボランティア活動 例：舞台やメディア、イベントへのボランティア活動 派遣及び依頼演奏 学習支援活動 部活動支援指導　など B　キャリア講座 例：外部講師によるマイナビ講座

教科書・テキスト等		成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント
参考書・参考資料等			ミニレポート・活動報告	50%	内容理解、活動の充実、学びを生かす考え
			鑑賞及び出演の状況	50%	鑑賞態度、積極性

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
フレッシュマン・ゼミ	各学科長　他	オムニバス		音楽学科・未来創造学科 1年次	前期	必修				ＡＢＣ

授業のテーマ及び到達目標	授　業　計　画	
	学修内容	学修内容
大学の学びに必要な基礎的な能力を身につけることができる。 ディスカッションなどに積極的に参加し、円滑なコミュニケーション基礎能力を身につけることができる。 授業を通して音楽大学生としての心構えや自己の適正・個性を深く知りキャリア形成につないでいく力を身につけることができる。	【大学の学びに必要な力】 ○大学生とは 平成音楽大学とはこんなところ ・３つのポリシー ○大学における学び ・レポートの書き方 ・情報モラルと著作権 ・学びを広げ深める図書館	【主体的な学びに必要な力】 ○大事なマネー学 ・将来必要な金銭感覚 ・今から知っておきたいお金 ○御船町を知ろう ・御船町はどんなところ？ ・御船町の歴史や文化を知る
授業の概要		
大学における主体的で充実した学びに向かうための初年次教育である。 授業では学びに必要な基礎力の育成を中心にすえ、音楽大学生としての自己表現力やキャリア形成などについて学ぶ。 ※授業計画は、各テーマに即した内容を例示している。 ※具体的な計画は、オリエンテーション時に配布する。	【学生同士の円滑な人間関係づくりに必要な力】 ○磨こう　人権感覚 ・様々なハラスメント ・人としてのマナー ○私を語る ・人生を豊かにする音楽	【目標に向かってすすむ力】 ○ようこそ先輩 ・卒業生からの話を聞く （音楽学科、こども学科） ○私の将来像を描こう ・自分の目標を立てる

教科書・テキスト等		成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント
参考書・参考資料等			ミニ・レポート(感想文)	50%	講座内容の理解、自分の考え
			参加態度	50%	積極性、協調性

科　目　名	担　当　者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3T01 豊かな言葉 Ⅰ	樋山　範夫	単独	２単位	音楽学科・未来創造学科 １年次	前期	選択			選択必修	ＡＣＥ

授業のテーマ及び到達目標

日々接する言葉の情報に関心を持ち自らの言語生活を振り返ることができるとともに、言葉への関心を高める。
より正しくより適切な言葉とはどのような言葉か。正しく解説し、深く分かるとはどういうことか。どうすればそうできるのか。
このような学びを通して、自らの言葉をさらに豊かにしていく力を身につける。

授業の概要

言葉について考え、自らの言葉を豊かにしていくような言語生活者でありたい。そのために、授業では、日常生活の中で接し、当たり前に使っている言葉について関心を持ち、少し立ち止まって考えるとともに、自分の言語生活を振り返る。
言葉の正しさ、敬語の適切な使用、深く正しい読みなどについて考え、実践できるようにしていく。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修
1	言葉に関心を持つ ・知っているつもり ・気づきにくい間違い	言葉について関心を持ったことを想起する	読み方の根拠となった知識を整理する
2	ちょっと気になる言葉遣い① ・ら抜き言葉 ・さ入れ言葉 レタス言葉	「ら抜き言葉」を使った経験を想起する	「ら抜き」「さ入れ」言葉について整理する
3	ちょっと気になる言葉遣い② ・断定を避ける表現 ・丁寧すぎる表現	批判されがちな若者の言葉の事例を集める	曖昧な表現、過重な敬語について整理する
4	敬語を使いこなす① ・敬意と敬語 ・相手や対象との関係	敬語について既に知っていることを想起する	敬語について新たに知ったことを整理する
5	敬語を使いこなす② ・尊敬 謙譲 丁寧 丁重 美化 ・敬語使用の実際	迷ったり間違ったりしやすい敬語を想起する	普段使う敬語を５分類の観点からを整理する
6	言葉の正しさ① ・言葉の乱れと揺れ ・正しさを決めるもの	乱れていると思う言葉の事例を集める	言葉の乱れと揺れの事例を整理する
7	言葉の正しさ② ・より正しい言葉 ・より適切な言葉	言葉の正しさについて自分の考えを持つ	言葉の正しさや適切さについて整理する
8	言葉への関心を持ち続ける ・言葉に気づく ・言語感覚を磨く　正誤 適否 美醜	気になる言葉への気づきの事例を集める	言語感覚を磨く自分なりの方法を考える
9	物語を読む① ・叙述に即した読み ・主題の把握	物語を読んで、自分なりの感想を持つ	作品の主題について、自分なりの考えを書く
10	物語を読む② ・事実 感想 主張 ・読みの交流	物語を読んで、作品の主題について考える	読みの交流を踏まえ、自分なりの考えを書く
11	社説を読む① ・事実 感想 主張 ・構成 事例 工夫	社説の資料を読み、自分なりの考えを持つ	主張を正しく捉える読み方について整理する
12	社説を読む② ・共感的に読む ・批判的に読む	社説の資料を読み、自分なりの考えを持つ	意見文や論説文の読み方について整理する
13	書評を書く① ・書評を読む ・書評に学ぶ	自分の好きな本について発表する準備をする	書評の対象の本を読み、伝えたい内容を持つ
14	書評を書く② ・伝えたいことが書けたか ・書いたことが伝わったか	書評の対象の本を読み、書評を書く	他の書評を読んで学んだことを整理する
15	豊かな言語生活 ・豊かな言葉と心 ・言葉を育て磨く	学修内容を想起し豊かな言葉について考える	豊かな言語生活について考えをまとめる

教科書・テキスト等	学修内容に応じて、資料を配付する。
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
試験・レポート	50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え
課題への取組	30%	事前準備・意見発表・事後整理の状況
平常点	20%	意見交流への前向きな参加態度

科　目　名	担　当　者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3T02 豊かな言葉 Ⅱ	樋山　範夫	単独	２単位	音楽学科・未来創造学科 １年次	前期	選択			選択必修	ＡＣＥ

授業のテーマ及び到達目標

伝えようとする相手・目的・状況に応じて、どのような方法で表現するのかについて考え、理解し、実践しそのことについて自分なりに評価できる。効果的な表現についての一般的な方法を知るとともに、自分なりの個性的で印象的な表現をすることの価値について認識し、表現の工夫をすることができる。

授業の概要

豊かな言語生活を送るためには、他者とのコミュニケーションを豊かにするが不可欠である。授業では、スピーチ、インタビュー、対談、討論などの話すことや聞くことと、整理し、くわしく、つなげて、論理的に書くことを中心に、よりよく表現することの実際について学ぶ。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修
1	よい話し方 ・“よい話し方”とは ・相手 目的 状況 方法 評価	”よい話し方”についての考えをまとめる	”よい話し方”とは何かを整理する
2	自己紹介 ・定型と破格 ・個性的に 印象的に	自己紹介で話すことについて準備する	場の状況に応じた話し方について整理する
3	スピーチ① ・魅力あるスピーチ ・書くことと話すこと	これまで経験したスピーチについて想起する	書くことと話すことの違いについて整理する
4	スピーチ② ・読むことと話すこと ・実践 スピーチ	スピーチで話す内容について準備する	スピーチを自分なりに評価して整理する
5	インタビュー① ・自分が聞きたいこと ・相手が話したいこと	これまで経験したインタビューについて想起する	インタビューするべき内容について整理する
6	インタビュー② ・引き出す 語らせる ・実践 インタビュー	インタビューで聞くことについて準備する	インタビューを自分なりに評価して整理する
7	対談① ・話題の焦点化 ・エピソードに語らせる	インタビューと対談の共通点と相違点について考える	対談のテーマに関するエピソードを整理する
8	対談② ・聞き手を意識し創造する対話 ・実践 対談	対談で話すことについて準備する	対談を自分なりに評価して整理する
9	パネルディスカッション① ・確かな根拠 ・論理の組み立て	いろいろな議論の方法について調べる	主張を裏付けるデータを集めて整理する
10	パネルディスカッション② ・的確な質問 効果的な反論 ・実践 討論	討論で主張する内容について準備する	討論を自分なりに評価して整理する
11	整理して書く ・思いつくままではなく ・省く まとめる 並べる	整理して書くために必要なことを考える	学びを踏まえ、課題について整理して書く
12	くわしく書く ・目に浮かぶ描写 ・筋が分かる説明	くわしく書くために必要なことを考える	学びを踏まえ、課題についてくわしく書く
13	つなげて書く ・どんなつながりなのか ・どのようにつなげるのか	つなげて書くために必要なことを考える	学びを踏まえ、課題についてつなげて書く
14	論理的に書く ・事実 推測 意見 ・根拠 理由 主張	論理的に書くために必要なことを考える	学びを踏まえ、課題について論理的に書く
15	感想を書く ・自分なればこその内容 ・感想を交流しての学び	学修内容を想起し感想を書く準備をする	感想交流を通して学んだことを書く

教科書・テキスト等	学修内容に応じて、資料を配付する。
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
試験・レポート	50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え
課題への取組	30%	事前準備・意見発表・事後整理の状況
平常点	20%	意見交流への前向きな参加態度

科　目　名	担　当　者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3T03 教育学Ⅰ	藤田　泉	単独	２単位	音楽学科 １年次	前期	選択			選択必修	ＡＢＦ

授業のテーマ及び到達目標

子どもが生まれてから思春期までに体験する様々な学びの経験について具体例を通して知り、その教育的意義と今後の課題について考え、話し合い、大まかに理解する。

授業の概要

人間にとって教育が果たす役割について具体的に知り考えることを目的とする。教育が学校だけでなく家庭、地域、社会における様々な人・もの・自然を介して行われることを知り、人を教える立場（教師・職場の先輩・親）になった時に考える力となる教育学の基礎知識や考え方を修得することをめざす。この「教育学Ⅰ」では、主として乳幼児期から思春期までの教育に関するテーマを取り扱う。適宜ＶＴＲを視聴する。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修
1	この授業での学び方を理解する（ガイダンス）教養科目としての教育学とは何かを学ぶ	シラバスを読む	教養科目としての教育学とは何かを学ぶ。
2	人の一生と学びについて考える AI時代における生涯学習と教育の課題について考える	ＡＩ時代に子どもが身につけるべき能力を調べる	ＡＩ時代の生涯学習と教育の課題について整理する。
3	他の動物との比較において人間の発達の特徴を知る。	チンパンジーと人間の子育ての違いを調べる。	人間の子育ての特徴を整理する。
4	日本の家庭の子育ての現状と今後の課題を学ぶ。	「孤育て」とよばれる日本の家庭の現状を調べる。	脱「孤育て」のために社会ができることを整理する。
5	ヒト科の他の動物とヒトとの違いを知り、ヒトがヒトらしい能力を発達させるために望ましい育ち方について学ぶ。	ヒト科の他の動物と比較した際のヒトの特徴を調べる。	ヒトがヒトらしく育つために必要なことを整理する。
6	子守唄とわらべうたの教育的意義を学ぶ。	子守唄とわらべうたの教育的意義について調べる。	子守唄とわらべうたの教育的意義について整理する。
7	すばなし、紙芝居、絵本、児童書など児童文化の教育的意義を学ぶ。	昔話、絵本、児童書から一つ選びその紹介文を書く。	口承文芸とそれ以外の児童文化の違いを整理する。
8	子どもの運動能力を伸ばすにはどうしたらよいか、学ぶ。	学齢期までの子どもの運動能力の伸ばし方を調べる。	家庭と幼稚／保育園・学校でできることを整理する。
9	子どもは自然から何を学ぶか、考える。	住所周辺の身近な里山を探し写真を撮る。	野外体験の教育的意義と野外教育の具体例を整理する
10	生きる力を育む場としての、冒険遊び場の取り組みについて学ぶ。	身近にある冒険遊び場の例を調べる。	調べた冒険遊び場に行き子どもを観察する。
11	防災教育について学ぶ。	住所周辺の過去の自然災害について調べる。	自然災害からの避難やケガ防止のための準備をする
12	食育について考える。	ある日の夕食の食材と産地・生産方法を調べる。	食育の意義を整理し自分の食生活を見直してみる。
13	安全教育（防犯、事故防止）について学ぶ。	子どもが遭遇しやすい犯罪や事故について調べる。	危険回避のための環境構成や訓練について整理する。
14	特別支援教育とは何か、及び、障がいを持っても豊かに生きられる社会をつくる試みについて学ぶ。	ねむの木学園の特別支援教育について調べる。	障がい者が豊かに生きられる社会の条件を整理する。
15	第１回～第14回までの授業内容のまとめと意見交換をし（30分）、筆記試験を受ける（60分）。	第１回～第14回の授業内容の復習をする。	全体の内容を整理する。

教科書・テキスト等	使用しない
参考書・参考資料等	適宜資料を配付する

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
筆記試験	70%	内容理解※受験資格：３分の２以上出席
平常点（行動観察）	30%	積極的な取組み（事前事後学修含む）

科　目　名	担　当　者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3T04 教育学Ⅱ	藤田　泉	単独	２単位	音楽学科 １年次	後期	選択			選択必修	ＡＢＦ

授業のテーマ及び到達目標

主として人が思春期以降に体験する様々な教育的経験について具体例を通して学び、その教育的意義や今後の課題について考え、話し合い、大まかに理解する。

授業の概要

人間にとって教育が果たす役割について具体的に知り考えることを目的とする。教育が学校だけでなく家庭、地域、社会における様々な人・もの・自然を介して行われることを知り、人を教える立場（教師・職場の先輩・親）になった時に考える力となる教育学の基礎知識や考え方を修得することをめざす。この「教育学Ⅱ」では、主として思春期以降の教育に関するテーマを取り扱う。適宜ＶＴＲを視聴する。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修
1	この授業での学び方を理解する。思春期以降の人間にとっての学びのテーマにはどんなものがあるか、考える。	シラバスを読む。	履修法を確認し、思春期以降の学びについて整理する
2	仕事経験の教育的意義について知る。	自分の中・高の職場体験学習を振り返りまとめる。	自分のやりたいインターンシップを探す。
3	政治的主権者を育てるためのシティズンシップ・エデュケーションについて学ぶ。	選挙権を行使するための情報収集の方法を調べる。	政治的主権者となるための学びについて整理する。
4	お金を管理できるようになるための消費者教育について学ぶ。	消費者教育の必要性について調べる。	賢い消費者に必要な知識技術や生活様式を整理する。
5	ボランティア活動の教育的意義について学ぶ。新しい学校建築様式とワークショップ型の学びについて知る。	やってみたい実行可能なボランティア活動を調べる。	できるボランティア活動をしてみる。
6	地域の伝統文化の継承の教育的意義について学ぶ、	住所付近の伝統文化で魅力的なものを探してみる。	地域の伝統文化継承の教育的意義について整理する。
7	新しい学校建築様式とワークショップ型の学びについて知る。	オープンスクール方式の学校と教育内容の例を調べる。	オープンスクールの教育内容とその意義を整理する
8	いじめとは何か、その防止・対策とアサーション・トレーニングについて学ぶ。	いじめの防止・対策の実践例を調べる。	いじめの防止・対策とアサーションについて整理する
9	紛争や戦争をなくすための平和教育について学ぶ。	戦争をなくし平和を創り出すための教育の例を調べる	紛争や戦争をなくすための平和教育について整理する
10	ジェンダーとは何かを理解し、女性や性的少数者が差別されやすい社会の構造と、差別をなくすための取り組みについて学ぶ。	ジェンダーによる差別をなくす教育の実践例を調べる	紹介された映画を見て感想を書く。
11	ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）とＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）について学ぶ。	ＳＤＧｓとＥＳＤの身近な例を調べる。	ＳＤＧｓとＥＳＤについて整理する。
12	日本にも増えているエスニック・マイノリティとはどのような人々かを知り、必要な教育支援とは何かを考える。	日本のエスニック・マイノリティの現状を調べる	エスニック・マイノリティへの教育支援を整理する。
13	異文化体験の教育的意義について学ぶ。	自分のこれまでの異文化体験を振り返って書く。	異文化体験の教育的意義について整理する。
14	アートを教育に生かす取組みを知る。	アートを教育に生かす取組みの身近な実践例を調べる	アートを教育に生かす取組みの教育的意義を整理する
15	第１回～第14回までの授業内容について意見交換をし（30分）、筆記試験を受ける（60分）。	第１回～第14回の授業内容の復習をする。	全体を振り返って整理する。

教科書・テキスト等	使用しない
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
筆記試験	70%	内容理解※受験資格：３分の２以上出席
平常点（行動観察）	30%	積極的な取組み（事前事後学修含む）

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3C05 法学（日本国憲法）	岩下　栄一	単独	２単位	音楽学科・未来創造学科 １年次	前期	選択	必修	必修	選択必修	ＡＤＥＦ

授業のテーマ及び到達目標	授　業　計　画
現代社会と憲法の関わり合いへの理解を深め、今日に生きる者としての常識と自覚を高める。	

回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
1	法とは何か 法と社会規範（法の目的、法の解釈について学ぶ）	シラバスを熟読する	レジュメをまとめ、振り返る	9	社会権的基本権（生存権、教育を受ける権利、労働三権について）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る
2	成文法と不文法（法の歴史、法の分類について学ぶ）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る	10	参政権的基本権、請求権的基本権（請願権、国家補償について学ぶ）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る
3	基本法としての憲法とは何か（硬性憲法と軟性憲法、憲法特質について学ぶ）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る	11	国民の義務（教育、勤労、納税、裁判員）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る
4	日本国憲法の基本原理（大日本帝国憲法から日本国憲法へ、憲法前文の精神について）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る	12	国会、内閣（国会、衆参両院の権能など、議員内閣制、内閣の組織と権能について）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る
5	国民主権と天皇（国民主権主義の意味、象徴としての天皇の地位と権能について）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る	13	法の支配と司法権（裁判所の構成、裁判官の地位、違憲立法審査権について）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る
6	国際平和と戦争放棄（平和憲法の持つ意味、９条をめぐる議論について）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る	14	地方自治（地方自治の原則、住民の権利）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る
7	基本的人権と法の下の平等（基本的人権とは何か、人権の歴史、法の下の平等）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る	15	まとめ（日本国憲法について学んだ事の総復習）	これまでの総復習	日本国憲法について理解を深める
8	自由権的基本権（精神の自由、身体の自由、経済の自由などについて）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る				

授業の概要
まず法とは何か、その発展過程をたどり、私たちの社会の規範についての思いを深める。 次に法である憲法の歴史を紐解き、その上で日本国憲法の成り立ちやその精神を明らかにし、基本原理すなわち国民主権、基本的人権、国際平和について論じる。

教科書・テキスト等	毎回、レジュメを配布する。
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント
	期末試験	70%	内容の理解度
	課題／レポート	15%	レポートの内容、課題への取り組み
	平常点（態度・行動観察）	15%	学びへの意欲、受講態度など

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3C06 教職概論	椙山　範夫	単独	２単位	音楽学科 ２年次	後期	選択	必修			ＡＢＣ

授業のテーマ及び到達目標	授　業　計　画
○理想の学校像・理想の教師像を持つ教職の意義、教員の役割・職務内容等について理解するとともに、求められる資質能力を身につけ向上させる見通しを持ち、教職を目指す意欲をさらに高めることができる。	

回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
1	教職を目指すということ ・「私の母校」と「理想の学校」 ・「心に残る教師」と「理想の教師」	自身の母校、心に残る教師について想起し整理する	いま考える理想の学校像、理想の教師像を整理する	9	生徒を理解する教師 ・生徒と向き合うということ ・生徒の心に寄り添うということ	教師に理解されなかった経験について想起する	生徒を理解するとはどういうことかを整理する
2	学校の意義・役割 ・学校教育の目的 ・学校教育への期待	学校の必要性、果たすべき役割について考える	学校教育の社会的意義・役割を整理する	10	学級を経営する教師 ・学級担任の役割 ・個を生かし集団を作る	出会ってきた担任や学級について想起する	学級担任の役割や集団づくりについて整理する
3	教職の意義 ・教育の場と教員の存在意義 ・教職と他の職業との違い	学校以外の教育の場と教育する者について考える	学校教育の社会的意義・役割を整理する	11	組織の一員としての教師 ・組織としての学校 ・校務分掌と学校運営	学校運営上必要な役割と校務分掌について調べる	組織としての学校、校務分掌について整理する
4	教職という仕事の性格 ・教師の一日 教師の仕事 ・無境界性 複線性 不確実性	学校生活、教師との関わりの経験について想起する	教職という仕事の性格を整理し、感想をまとめる	12	チーム学校による組織力 ・保護者、地域との連携と分担 ・学校内外の専門家との連携と分担	「チーム学校」について調べ、整理する	求められる理想のチーム学校像を整理する

授業の概要
それぞれが持つ学校像・教師像を踏まえながら、具体的な事例を通して、教職の意義、教員の役割・職務内容・求められる資質能力について考える。その中から、これから目指す理想の学校像・教師像を自ら構築し、教職につくための努力の方向性と筋道を明らかにしていく。

回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
5	教師に求められる資質能力 ・時代と教師観の変遷 ・今日の教師に求められる資質能力	時代によって教職観がどう変遷してきたか調べる	資質能力をどのように身につけていくか整理する	13	教員の義務と身分保障 ・服務上の義務 身分上の義務 ・権限と制限	教員の義務や権限について調べて整理する	教員の服務上・身分上の義務を整理する
6	教員の養成・成長 ・教員養成と現職教育 ・教員の成長と研修	本学のシラバスで、学修すべき内容の概要を把握する	日本の教員養成制度と免許取得の要件を整理する	14	信頼される教師 ・教師の不祥事防止 ・信頼される教師の要件	新聞等で、最近の教員の不祥事について調べる	信頼される教師になるための要件について整理する
7	授業における教師 ・教えることと学ぶこと ・授業における教師の役割	経験してきた授業、心に残る授業について想起する	よいと考える授業における教師の役割を整理する	15	教職を目指すということ ・いま考える「理想の学校」 ・いま考える「理想の教師」	理想の学校、理想の教師についてまとめる	理想の教師を目指して努力すべきことを整理する
8	授業を創造する教師 ・「教える専門家」と「学びの専門家」 ・「学び」を創り出す教師	教えることと学ぶこととの関係について考える	いま考える理想の授業像、理想の教師像を整理する				

教科書・テキスト等	学修内容に応じて、資料を配付する。
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。

成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント
	試験・レポート	50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え
	課題への取組	30%	事前準備・意見発表・事後整理の状況
	平常点	20%	意見交流への前向きな参加態度

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3C07 教育原理	藤田　泉	単独	２単位	音楽学科 ２年次	後期	選択	必修		選択必修	ＡＢＦ

授業のテーマ及び到達目標	授　業　計　画							
教育の基本的概念を修得すると共に、教育の成立要因とそれらの相互関係、教育の歴史に関する基礎的知識、それと教育理念との関係や現代までの学校の変遷、教育思想及びその現実の教育・学校との関係を理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
	1	教育とは何かを学ぶ。	教科書『教育原理』（以下、教科書）第1章を読む。	人間形成の諸要素、教育の歴史性、学校の役割を整理	9	日本の教育法学の基本的考え方を、戦前と戦後の違いを中心に理解する。	教科書第3章を読みワークシートに記入する	公教育の理念と歴史および今後の課題を整理
	2	人間の教育の特質を理解する。	教科書第2章3を読み、ワークシートに記入する。	人が生まれてから家庭、仕事、社会で育つ過程を整理。	10	日本の学校制度と教育行政の基本を学ぶ。	第9回授業時配られた資料を読みワークシート記入	日本の教育行政の仕組みと現代の改革の方向性を整理
	3	社会にとっての教育の意味を学び、現代日本における学校教育の役割について理解する。	教科書第2章1・2・4を読みワークシートに記入	生活による学びの重要性と現代の学校教育の課題を整理	11	西洋と日本の近代以降の公教育制度の歴史と現代の教育課題について学ぶ	教科書第8・10・11章を読みワークシートに記入	近代の教育制度の変遷と今後の課題を整理
	4	西洋教育思想の源流としてのキリスト教を知る。	教科書第5章1～5と第9章を読みワークシートに記入	ルネサンス以後の人間観へのキリスト教の影響を理解	12	現代の学校教育の内容とカリキュラム編成について学ぶ	中学校・高等学校学習指導要領を読みワークシート記入	学校教育の内容とカリキュラム編成の仕組みを整理
授業の概要								
教育学の諸概念、教育の本質及び目標、教育の成立要素と相互関係、家族と社会による教育の歴史、近代教育制度の成立と展開、現代社会の教育課題の歴史的理解、家庭や子どもや学校、学習に関わる教育思想、代表的な教育家の教育思想を学ぶ。事前学修を重視し、適宜ＶＴＲを利用し、小集団での話し合いを通して考えを深める。	5	現代の教育実践を支える能力論を学ぶ。	教科書第14章を読みワークシートに記入する	目指される力としての学力から資質能力への転換を知る	13	教員養成の仕組みと求められる教師像を知る	第12回授業時配られた資料を読みワークシート記入	教員養成制度と理想的教師像の歴史的変遷を整理
	6	西洋教育思想の源流としての古代ギリシア思想を知る。	教科書第4章を読みワークシートに記入する	西洋教育思想の源としての知への愛と問答法を理解する	14	生活指導の基本的考え方を学ぶ	教科書第13章4・5を読みワークシート記入	日本における生活指導の変遷を整理
	7	近代の教育方法としての「合文化の原則」vs.「合自然の原則」、または「系統学習」vs.「経験学習」を知る。	教科書第5章6～9と第6章を読みワークシートに記入	近代の教育方法としての合文化と合自然の原則を学ぶ	15	生涯学修について学び（30分）、筆記試験を受ける（60分）。	教科書第15章を読み1～14回の学修内容を復習する	全回分の学びを整理する
	8	現代の教育方法学の基本と、アクティブ・ラーニングの考え方について学ぶ	教科書第7・12・13章を読みワークシートに記入	義務教育学校の現実への批判としての新教育運動を理解				

教科書・テキスト等	平成29年告示中学校学習指導要領(東山書房)， 平成30年告示高等学校学習指導要領(東山書房)， アクティベート教育学０１教育原理(ミネルヴァ書房)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント
	筆記試験	70%	理解※教職12・他10回以上出席で受験可
	平常点	30%	事前・事後学修、授業への積極的参加

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3C08 教育心理学	竹下　健太	単独	２単位	音楽学科 １年次	後期	選択	必修		選択必修	ＡＢＣＥＦ

授業のテーマ及び到達目標	授　業　計　画							
学習に影響を与えるこどもの心と体、家庭や学校と、それらの関わり合いを理解する。さらに学習に関する有名な複数の理論を基にこどもを評価し、それぞれに合わせた指導ができるようになる。またその指導によりこどものやる気を引出し勉強面だけでなく運動面や人間関係面において児童自ら向上させようとするような教師を目指す。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
	1	教育心理学の歴史を概観しこれから学ぶ知識を整理するための枠組み作り	自分の過去の記憶から教育における疑問をまとめる	幼児教育における教育心理学について考察	9	児童期から青年期の心身の発達を包括的に概観し教育が発達に与える影響の大きさを学修	発達の可塑性に影響を与える要因について学修	自分に影響を与えた出来事について考察
	2	行動主義の実験が教育現場でどのように応用いられているか学修	前期の発達心理学における行動主義について復習	行動主義で自分の問題行動を一つ変えてみる	10	ヒトの乳幼児期における特殊性とそれを考慮した関わりについて学修	発達心理学における愛着理論について復習	自分の愛着スタイルをより安定させる方法を考察
	3	認知論的研究が、教育現場でどのように用いられているか学修	発達心理学における認知主義について復習	認知論の観点から自分の学修方法を見直す	11	ヒトの児童期における概念操作の発達段階について学修（ピアジェの認知発達論）	小学校での学びと中学校での学びの違いをまとめる	異なる発達段階のこどもにどのように教えるか考察
	4	コンピュータの情報処理をモデルとした人間の情報処理の理解について学修	発達心理学における記憶の実験について復習	コンピュータの情報処理と人間の情報処理について考察	12	青年期を中心として様々な時期の発達課題の関わりを学修	自分の青年期の悩みについてまとめておく	生徒の発達課題の達成を支援する方法を考察
授業の概要								
前期の発達心理学をベースに、より応用的実践的な学習支援ややる気の引出し方を学修する。	5	心理学において個人差（性格）がどのように研究されてきたか学修	自己観察し個人内差と個人間差についてまとめる	自分の個性が教師として生徒評価にどう影響するか考察	13	教師の個性とこどもの個性の相互作用について学修し、それが、どのように学習評価に影響を与えるか学修	これまで行った心理テスト等で自己理解を深める	自分の教え方や評価の癖とその影響について考察
	6	心理学において個人差（知能・学力）がどのように研究されてきたか学修	知能とは何を計るものか自分なりにまとめておく	知能の多様性とそれに合わせた関わりについて考察	14	不登校やいじめ、非行などの不適応について学修し、こどものより良い集団づくりの支援の方法を学修	学校不適応に関するニュース等をチェックしておく	学校不適応のこどもにどのように対応するか考察
	7	外発的動機と内発的動機に関しての理論を教育現場でどう活用し学生の主体的学びにつなげるかを学修	発達心理学における動機づけの実験を復習	教師として生徒の内発的動機を高める関わりを考察	15	さまざまな発達障害とその対応について学修	発達障害に関する本を少なくとも一冊は読んでおく	発達障害のこどもにどのように対応するか考察
	8	様々な教授法と学習法を生徒の個性に合わせて選択する方法を学修	自分がどんな教授法だと解りやすかったかまとめる	自分と違う個性の生徒に教育する際の教授法を練習				

教科書・テキスト等	教育心理学エッセンシャルズ(ナカニシヤ出版)
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。

成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント
	小レポート・態度発言	80%	意見の深まり・積極的な参加
	期末レポート	20%	課題についての調査、自分の考え

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3C09 発達心理学	竹下　健太	単独	２単位	音楽学科 １年次	前期	選択	必修		選択必修	ＡＢＣＥＦ

授業のテーマ及び到達目標

人の心と体の成長や学びに影響する遺伝と環境の関わり合いや発達の段階に合わせた各領域の支援ができるようになる。さまざまな学びに関する理論をもとにこどもを理解し、こども達が自らやる気をだしたり、仲間を作ったりできるようにサポートすることができるようになる。

授業の概要

命の始まりから終わりまで、さまざまな面から学修し、人は、死ぬまで成長し続けることができること、自分で自分を変えることができること、他人を変えることはできないが、変わろうとしている人のお手伝いができることと、その方法を理解する。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修
1	人が一生発達し続ける様子を概観し発達心理学の必要性を学修	教科書を読んで疑問点をまとめておく	一生涯発達し続ける存在として自分の人生を考察
2	遺伝と環境がお互いに影響を与え合うことについて学修	自分の個性がどのように作られたか考えておく	遺伝と環境に主体的に関わり自己を形成する方法を考察
3	乳幼児期の愛着形成の理論とその意義について学修	自分の愛着の型を教科書を読んで予想しておく	自分の愛着をより安定したものにする方法を考察
4	乳幼児期から児童期にかけての遊びの発達とその発達における意義（運動、言語、認知、社会性等）を学修	自分が子供のころにした遊びについてまとめておく	発達的意義から自分と他の学生の遊びを考察
5	自我同一性形成の理論と自己概念の発達について学修	自分のアイデンティティの達成度を予想しておく	自分の自己概念の発達を振り返り理解を深める
6	外発的動機と内発的動機の関係について学修し、児童生徒の主体的学習を支えるような働きかけを学修	自分がやる気が出るのはどんなときかまとめておく	自分のやる気をより内発的なものにする方法を考察
7	自己主張と自己抑制の発達が社会性の発達に与える影響について学修	自分が行った自己主張と自己抑制の事例をまとめておく	自己主張と自己抑制がバランスよくできる方法を考察
8	人格形成における遺伝と環境の相互作用について学修	自分の性格で変えたいところをまとめておく	授業をふまえて自分の性格を変える方法について考察
9	外界を適応的に捉えるために必要な遺伝と環境の相互作用について学修	主観と客観がずれた知覚体験をこれまでの経験から探す	ヒトの知覚系の可塑性と臨界期について考察
10	ことばの発達を中心に様々な発達領域の関連を学修	これまでの内容を一通り復習しておく	各発達領域の関連を自分なりにまとめて考察
11	知的能力における多様な個性とその発達を学修し、児童生徒の個性に合わせた学習支援及び評価について学修	自分の情報処理の特性についてまとめておく	知能の多様性を理解し自分と異なる特性の価値を認める
12	これまで学んだ個人的発達を基に、どのように社会性が発達するか学修し、児童生徒の集団づくりの支援を学修	自分の対人関係の悩みについてまとめておく	授業内容を踏まえ自分の悩みに自分で答えを出す
13	道徳がいかに学ばれるかについて様々な理論を学修	道徳心がどのような起源をもつか考察	道徳の発達についてどの学説が正しいと思うか考察
14	感情の生物学的基盤と社会的に構成された要素について学修	自分がどんな時どんな感情となるか自己観察	授業の内容を踏まえて自己の感情制御の練習
15	発達における諸問題とその基本的対処方法を学修	これまでの内容を総復習しておく	発達の問題における様々な領域の関わりを考察

教科書・テキスト等	図で分かる発達心理学(福村出版)
参考書・参考資料等	

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
小レポート・発言	80%	意見の深まり・積極的な参加・理解
期末レポート	20%	課題について調査、論旨一貫性、自分の考え

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3N10 音楽心理学	竹下　健太	単独	２単位	音楽学科・こども学科 ２・３年次	後期	選択			必修	ＡＢＣＥＦ

授業のテーマ及び到達目標

本講義を通して、音楽を心理学的に理解する枠組みを身につけることが到達目標である。

授業の概要

本講義では、音楽心理学の研究方法から始まり、実際の練習方法への応用や、音楽が心身に与える影響までを学ぶ。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修
1	音楽を観察法と実験法を用いて研究する方法を学修	音楽理論では解けない音楽に関する疑問を考えてくる	観察法に基づき「行動チェックリスト」等を作成
2	音楽を質問紙法と面接法を用いて研究する方法を学修	観察法で自分の楽行動をデータ化する	観察法で得られた仮説を質問紙法か面接法で検証する
3	周波数の多さを空間的次元の「高さ」で表現する不思議等について学修	音を聞いたときに感じる「高さ」について考察しておく	音高に関する様々な不思議について考察
4	視覚的現象が聴覚領域で観察されることの不思議等について学修	メロディと非メロディの違いについて考察しておく	聴覚の群化・体制化とメロディの関係について考察
5	ある音とそれから１オクターブ上の音は何が同じなのかについて学修	「ド」の音が持つ「ド」らしさとは何かについて考察	周波数比だけでは説明がつかない音の不思議を考察
6	心理学において個人差（知能・学力）がどのように研究されてきたか学修	リズムとは何かについて自分の考えをまとめておく	内的クロックに適合しやすいリズムを一つ作る
7	音の協和の物理学的及び心理学的側面について学修	協和音と不協和音の境目について考察しておく	なぜ協和音を心地よいと感じるか考察
8	和音と音色の不思議について学修	フルートの純粋さとヴァイオリンの豊潤さを聴き取る	いろいろな楽器がある理由を心理学的に考察
9	音楽による気分誘導効果等について学修	表現された感情と演奏者の実際の感情を聞きとる	心身の痛みを音楽で軽くする実験を自分でする
10	音楽の好みが分かれる理由について学修	自分がある音楽をなぜ好きか考察	心理学を使って自分の音楽の好み変化させてみる
11	音楽の記憶の視覚的、聴覚的、言語的、運動的表象について学修	耳が聞こえない人が音楽を楽しむ方法を考えてくる	自分の音楽の記憶がどの表象を主に使っているか考察
12	音楽の記憶の旋律的、リズム的、協和的側面について学修	旋律、リズム、協和について復習しておく	音楽の三要素における自分の記憶について考察する
13	演奏と作曲における創造的側面について学修	音楽における創造性尺度を試作してみる	心理学を使って自分の創造性を高めてみる
14	音楽療法の歴史と主な理論について学修	音楽療法に関する本を一冊読んでおく	音楽療法とその他の心理療法の関連について考察
15	これまでの授業を踏まえて実際に研究計画を考案し理解を深める	授業内容を踏まえて音楽心理学的仮説を考案してくる	音楽大学で音楽心理学を生かす方法を考える

備考
※音楽療法コース必修

教科書・テキスト等	音は心の中で音楽になる(北大路書房)
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
小レポート	70%	自分自身の問題として考察したか
期末レポート	20%	主体的に調査及び考察したか
授業態度・発言	10%	積極的に参加し、適切な発言をしたか

科　目　名	担　当　者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
こども家庭福祉	出川　聖尚子	単独	２単位	音楽学科・未来創造学科 １年次	前期			必修		ＡＢＣＥＦ

授業のテーマ及び到達目標

児童・家庭の生活実態と社会情勢について理解できる。 児童家庭福祉の理念および制度の発展過程に関する知識を習得できる。 子どもの権利の歴史および思想に関する知識が習得できる。 現在の児童・家庭福祉制度や法制度について理解でき、課題を理解できる

授業の概要

まず、現代の子どもの育ち・子育て家庭の現状を理解する。続いて、我が国における児童家庭福祉施策（児童家庭福祉の理念・対象となる範囲・社会に果たした役割とその意義など）の歴史的展開、および現在の児童福祉の法体系および実施体制について理解する。さらに子どもの権利について理解し、児童家庭福祉におけるその実施について考えていく。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
1	オリエンテーション			9	児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）と配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（ＤＶ防止法）		
2	児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際①少子化と家庭の現状および対策			10	児童福祉関連する法律について 母子及び寡婦福祉法、母子保健法など		
3	児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際②いじめ・少年犯罪・青少年育成			11	児童福祉各種手当について 児童手当法、児童扶養手当法、特別児童扶養手当等の支給に関する法律など		
4	児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際③家庭内暴力・児童虐待			12	児童・家庭に関連する施策 次世代育成支援対策推進法、少子化社会対策基本法、売春防止法など		
5	児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際④ひとり親家庭児童の定義と子どもの権利			13	児童・家庭福祉制度における組織・団体、専門職の役割と実際		
6	児童・家庭福祉制度の発展過程			14	児童・家庭福祉制度における多職種連携、ネットワーキングと実際及び、児童相談所の役割と実際、子ども家庭福祉の専門職		
7	児童の定義と子どもの権利			15	まとめ		
8	児童福祉法						

教科書・テキスト等	『最新 社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉』(中央法規)
参考書・参考資料等	

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
小レポート	35%	
課題レポート	50%	
授業への参加度	15%	

科　目　名	担　当　者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3T12 社会福祉論	岡村　ゆかり	単独	２単位	音楽学科・こども学科 ２年次	前期	選択		必修	選択必修	ＡＤＥＦ

授業のテーマ及び到達目標

１．現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解することができる。２．社会福祉の制度や実施体系等について理解することができる。３．社会福祉における相談援助について理解することができる。４．社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解することができる。５．社会福祉の動向と課題について理解することができる。

授業の概要

この科目では、社会福祉の考え方やしくみを学びます。講義では、身近な暮らしにおける事例を取り上げたり、諸外国との比較を行ったりします。また、子どもや子育て家庭に携わる専門職（保育士等）に必要とされる相談援助（ソーシャルワーク）の理論や方法等についても学びます。その理解を深めるために、ミニ演習を行うことがあります。　基本的にはテキストを使用しますが、必要に応じて視聴覚教材を用いることがあります。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
1	社会福祉の理念と歴史的変遷	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	9	相談援助の方法と技術	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する
2	子ども家庭支援と社会福祉	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	10	社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する
3	社会福祉の制度と法体系	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	11	少子高齢化社会における子育て支援	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する
4	社会福祉行財政と実施機関、社会福祉施設等社会福祉の専門職	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	12	共生社会の実現と障害者施策	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する
5	社会保障および関連制度の概要	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	13	在宅福祉・地域福祉の推進	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する
6	相談援助の理論	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	14	諸外国の社会福祉の動向	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する
7	相談援助の意義と機能	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	15	まとめ(試験)	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する
8	相談援助の対象と過程	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する				

教科書・テキスト等	『新・基本保育シリーズ④　社会福祉』中央法規（2019年）
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
期末試験	80%	理解の程度
平常点(態度・行動観察)	20%	参加態度

科　目　名	担　当　者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3C13 情報演習Ⅰ	浅川　浩二	単独	２単位	音楽学科・こども学科 ２年次	前期	選択	選択必修	選択必修	選択必修	ＡＤ

授業のテーマ及び到達目標

児童・家庭の生活実態と社会情勢について理解できる。 児童家庭福祉の理念および制度の発展過程に関する知識を習得できる。 子どもの権利の歴史および思想に関する知識が習得できる。 現在の児童・家庭福祉制度や法制度について理解でき、課題を理解できる

授業の概要

まず、現代の子どもの育ち・子育て家庭の現状を理解する。続いて、我が国における児童家庭福祉施策（児童家庭福祉の理念・対象となる範囲・社会に果たした役割とその意義など）の歴史的展開、および現在の児童福祉の法体系および実施体制について理解する。さらに子どもの権利について理解し、児童家庭福祉におけるその実施について考えていく。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
1	コンピューターの基本的な構造について ノイマン型コンピューターの原理	コンピュータの原理に関しての予習	コンピューターの原理に関しての復習	9	ウェブアプリケーションを利用した画像加工 スマートホンによる画像加工アプリでの加工	アプリケーションのリサーチ	アプリケーションの機能の確認
2	コンピューターの歴史とOSの構造OSの機能と説明	OSの成り立ちなどの予習	他のOSに関してのリサーチ	10	画像加工演習 ウェブアプリケーションによる画像加工演習	アプリケーションのインストール	画像加工の実践
3	ウェブメールの開設と利用法Googleメール等メール開設	Googleサービスの全体像の把握	その他のGoogleサービスの把握	11	画像加工演習2 ウェブアプリケーションによる画像加工演習	自身で撮影した画像の加工	画像加工の実践
4	ウェブカレンダー検索技術についてカレンダーシステムの実際	Googleカレンダーの確認	カレンダー入力等	12	画像加工演習3 ウェブアプリケーションによる画像加工演習	自身で撮影した画像の加工	画像加工の実践
5	クラウドにおけるSNSサービスの実体と演習 クラウドサービスとしてのSNSに関しての講義	SNSの種類の確認 カメラアプリの選択	各種SNSへの登録	13	ウェブアプリを利用したOffice系アプリの説明 Officeアプリのクラウド化に関しての講義	オフィスアプリの種類の確認	オフィスアプリの利用実践
6	Facebook利用法と概念の理解Facebookの利用に関しての講義と実習	Facebookの利用実績などのリサーチ	Facebookへの登録等	14	ワード系ソフトによる制作演習1 ワードソフト演習	文書作成の練習	文書内容の再確認
7	スマートホンを利用した撮影技術の基礎とアプリケーションスマートホンのカメスマートホンのカメラアプリによる撮影	カメラアプリの選択	アプリの使用実践	15	ワード系ソフトによる制作演習2 ワードソフト演習	作成内容の確認と修正	文書内容の再確認
8	画像加工に基礎知識 スマートホンによる画像加工アプリの利用	画像の基礎的知識の予習	加工技術の実践				

教科書・テキスト等	
参考書・参考資料等	

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
課題/レポート	50%	制作レポート　ブログ及びロゴ等制作物
平常点	30%	課題提出　出席率及び授業態度
期末試験	20%	制作物　ウェブ・サイト等最終制作物の内容

科　目　名	担　当　者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3C14 情報演習Ⅱ	浅川　浩二	単独	２単位	音楽学科・こども学科 ２年次	後期	選択	選択必修	選択必修	選択必修	ＡＤ

授業のテーマ及び到達目標

情報演習Ⅰで学んだことを基本として、インターネットの活用やオフィス系のソフトの使用方法を習得することを目標とする。

授業の概要

プログの作成実習やエクセル、パワーポイントなどの理解と実習をベースとしてコンピュータの利用における情報の取り扱い向上を目指す。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
1	スマートホンの利用における情報の拡散について 情報拡散の事実と方法論の講義	スマートホンによる情報の拡散とは何か	情報の持つ意味などの理解	9	エクセル実習2 エクセルの作成実習	方程式などの理解	方程式による作表実験
2	その他のスマートホンアプリケーションの実習 スマートホンによる実践的アプリの解説	各種アプリの確認	提示されたアプリなどによる実験	10	パワーポイントの基礎 プレゼンテーションのコンセプトワーク	プレゼンテーションの概念の理解	簡易的プレゼンテーションの実施
3	プログ制作と書き込み演習1 プログの作成	プログの種類のリサーチ	プログの修正	11	パワーポイント演習	実践的コンセプトの理解	制作したプレゼンテーションデータの修正
4	プログ制作と書き込み演習2 プログの作成	プログの設置と書き込みの予習	プログの修正	12	情報リテラシーのまとめ 情報を扱う意味と利益などについて	情報の持つ特性の予習	情報に関してのネガティブエフェクトの理解
5	ネット上の音楽制作ソフトについて 作曲ソフト等の利用における制作実習	作曲ソフトのリサーチ	他のソフトなどによる実験	13	ネット上の著作権について ネット上の著作権に関しての講義	著作権侵害事例などのリサーチ	著作権侵害事例などのリサーチ
6	音楽制作実習 作曲ソフト等の利用における制作実習	作曲方法などのリサーチ	他のソフトなどによる実験	14	制作実習1 最終課題の提示と実習	課題の再考	課題の制作
7	エクセルの基礎 エクセルの基礎的知識の講義	表計算の概念の把握	ウェブアプリケーションのエクセルによる実験	15	制作実習2 最終課題の提示と実習	課題の再考	課題の制作
8	エクセルによる図表の作成 エクセルの作成実習	図表等の作成	図表の変換などの実験	備考 ※教職課程履修は、情報演習Ⅰ・情報演習Ⅱより４単位必修			

教科書・テキスト等	
参考書・参考資料等	

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
課題/レポート	50%	制作レポート　ブログ及びロゴ等制作物
平常点	30%	課題提出　出席率及び授業態度
期末試験	20%	制作物　ウェブ・サイト等最終制作物の内容

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3C15 医学概論	齋藤　考由	単独	２単位	音楽学科・こども学科 未来創造学科 1．２年次	後期	選択			選択必修	ＡＢＣ

授業のテーマ及び到達目標	授　業　計　画						
現在「医学」と呼称されているヒトの営み全般について検討することを課題とする。まず、西洋医学の考え方を整理する。ついで、それと対峙する考え方を持つインドや中国の「東洋」医学の考え方を学ぶ。さらに、通常「代替医学」と位置付けられている各種の「治療」や「療法」の意味についても検討し、中でも「音楽療法」の位置づけを考える。上記の知識を整理し理解することを通して、人間の健康と音楽のあり方を考察することを目標とする。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
	1	西洋医学の源流 1	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	9	東洋医学 3(中国・経絡と鍼灸)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□
	2	西洋医学の源流 2	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	10	代替療法 1(ホメオパシー)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□
	3	西洋医学と錬金術	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	11	代替療法 2(気功)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□
	4	西洋医学と化学(アラビア医学)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	12	代替療法 3(カイロプラクティク)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□
授業の概要								
ヒポクラテス学派に始まる西洋医学の歴史と考え方を整理する。次に、インドや中国における医学の概念と治療法について触れる。さらに、ホメオパシー、カイロプラクティック、気功などの考え方、心理(精神)療法とさまざまな「芸術療法」とりわけ「音楽療法」といわゆる「正統医学」の関係性についても詳述していく。	5	西洋医学における「実証科学的思考」	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	13	代替療法 4(芸術療法)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□
	6	西洋医学における「統計とエビデンス」	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	14	代替療法 5(音楽療法 1)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□
	7	東洋医学 1（インド・ヴェーダ)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	15	代替療法 6(音楽療法 2)　まとめ	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□
	8	東洋医学 2(中国・漢方医学)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。				

教科書・テキスト等	講師が資料を用意します。
参考書・参考資料等	講義中に随時紹介していきます。

成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント
	期末の筆記テストによる	100%	知的な整理と自らの事として考察すること

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
精神保健学	荒木　晴美	単独	２単位	音楽学科 ２年次	後期	選択			選択必修	CDE

授業のテーマ及び到達目標	授　業　計　画						
精神保健の基礎を学び、現代は社会的・心理的ストレスに曝される機会が多いので、様々な不適応状態に対する精神保健的対応を理解する。Well-beingの生き方を模索する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
	1	精神保健とはなにか	精神保健のイメージを考えておく	精神の健康を保つためには何を学べば良いか整理する	9	様々な精神疾患①	どのような精神疾患があるか調べておく	学んだ精神疾患と対処法を整理する
	2	こころの発達	ライフサイクルを調べておく	各年齢段階における心の発達をまとめる	10	様々な精神疾患②	どのような精神疾患があるか調べておく	学んだ精神疾患と対処法を整理する
	3	セクシュアリティと精神保健	「性」とは何か考えておく	「性」について理解したことをまとめる	11	災害後の精神保健	「心のケア」とは何か調べておく	心のケアの留意点をまとめる
	4	精神的危機とはなにか	クライシスとは何か調べておく	心理的ストレスの対処法をまとめる	12	アディクションと精神保健①	アディクションの種類を調べておく	其々の実態と対策をまとめる
授業の概要								
精神保健とは何かを学び、人の心の発達をライフサイクルを通して理解し人間の性についても考える。精神的危機を色々な場面において理解する。精神保健に関わる疾患についても基本を学び予防についても理解する。	5	家庭における危機	家庭ではどのような危機があるか調べておく	家庭における危機的状況をまとめる	13	アディクションと精神保健②	アディクションの種類を調べておく	其々の実態と対策をまとめる
	6	学校における危機	学校ではどのような危機があるか調べておく	学校における危機的状況をまとめる	14	自尊感情とレジリエンス	レジリエンスについて調べておく	自尊感情を高めるためにすることをまとめる
	7	職場における危機	職場ではどのような危機があるか調べておく	職場における危機的状況をまとめる	15	まとめ	何がもっとも心に残ったか考えてくる	どのように精神保健を保つかまとめる
	8	地域における危機	地域ではどのような危機があるか調べておく	地域の精神保健活動をまとめる				

教科書・テキスト等	精神保健(医歯薬出版)
参考書・参考資料等	こころの健康と精神保健(医学出版)

成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント
	期末試験	80%	学修内容理解
	平常点	20%	態度・行動観察

科　目　名	担　当　者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L1C18 体育実技Ⅰ	石岡　ひろみ	単独	1単位	音楽学科・未来創造学科 1年次	前期	必修	必修	必修	選択必修	ＡＢＣＤＥＦ

授業のテーマ及び到達目標

自分自身の体力を知り、全身運動・リズム運動・軽スポーツにチャレンジする。生涯に亘る健康づくりの基礎的な実技力を獲得する。各種の運動を楽しむことで体力の維持・増進を図り、生涯に亘る健康づくりの基礎を身につけることができる。

授業の概要

各自の体力に合わせ、楽しくリズミカルに且つ積極的に軽スポーツを行う。人格形成の見地より、仲間と協力して準備・片付けを行い、運動を通してコミュニケーション能力を高める。また、それぞれがリーダーシップを発揮し、主体的に運動と関わるようにする。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修
1	・オリエンテーション ・みんなでラジオ体操第一 ・レクリエーションゲーム／屋外活動	シラバスの内容を確認しておく	ラジオ体操第一を復習する
2	・みんなでラジオ体操第二 ・リズム運動で体をほぐす ・ウォーキングを楽しむ／屋外活動	ラジオ体操第一、第二の動きを確認しておく	ラジオ体操第二を復習する
3	・屋外活動 ・ウォーキングを楽しむ ・伸び伸びと全身運動を行う	ウォーキングを楽しむ準備をしておく	使った部位のストレッチを行う
4	・ラジオ体操第一を確実に行う① ・ストレッチを考え実践する ・バドミントンを楽しむ／屋外活動	屋外でバドミントンができる様準備しておく	バドミントンで使った部位のストレッチを行う
5	・ラジオ体操第一を確実に行う② ・軽いランニングを考え実践する ・ルールを考えバドミントンを行う／屋外活動	ラジオ体操第一の動きを確認しておく	ラジオ体操第一を行う
6	・ラジオ体操第二を確実に行う① ・リズム体操で体をほぐす ・ルールを考えバドミントンを楽しむ／屋外活動	ラジオ体操第二の動きを確認しておく	バドミントンのルールを整理しておく
7	・屋外活動 ・ウォーミングアップ ・ウォーキング、全身運動を楽しむ	体調を整え、学修内容の確認をしておく	使った部位のストレッチを行う
8	・ラジオ体操第二を確実に行う② ・ウォーミングアップを考え実践する ・グループゲームにチャレンジする／屋外活動	ウォーミングアップの内容を考えておく	ラジオ体操第二を行う
9	・ラジオ体操第三に取り組む ・フットワークを考え楽しむ ・グループゲームを楽しむ	ラジオ体操第三について調べる	ラジオ体操第三について調べる
10	・ラジオ体操第三の構成を覚える① ・リズム運動で体をほぐす ・グループゲームを考え実践する	グループゲームについて考えておく	解説図を基にラジオ体操第三の動きを確認する
11	・ラジオ体操第三の構成を覚える② ・軽いランニングを行う ・ストレッチを考え実践する	ストレッチについて考えておく	解説図を基にラジオ体操第三の動きを覚える
12	・ラジオ体操第三が確実にできる① ・リズム運動を考え実践する ・ボールゲームを楽しむ	リズム運動について考えておく	ラジオ体操第三を復習する
13	・ラジオ体操第三が確実にできる② ・軽いランニングを各自行う ・ボールゲームを考え実践する	ボールゲームについて考えておく	ラジオ体操の効果について整理する
14	・リズム運動で体をほぐす ・グループ活動を通して課題に取り組む	グループ活動について考えておく	課題を整理しておく
15	・ウォーミングアップ、軽いランニングを行う ・課題について、グループ発表をする	体調を整え、グループ発表の準備をしておく	これまでの学修をまとめる

教科書・テキスト等

参考書・参考資料等　適宜、資料・プリント配付

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
期末テスト(実技)	40%	個別の習熟度
課題	40%	課題への取り組み
平常点（取り組み）	20%	体力を把握した積極的な取り組み

科　目　名	担　当　者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L1C19 体育実技ⅡＡ	石岡　ひろみ	単独	1単位	音楽学科・未来創造学科 1年次	後期	必修	必修	必修	選択必修	ＡＢＣＤＥＦ

授業のテーマ及び到達目標

自分自身の体力を知り、全身運動・リズム運動・軽スポーツにチャレンジする。生涯に亘る健康づくりの基礎的な実技力を獲得する。各種の運動を楽しむことで体力の維持・増進を図り、心身ともに健康で豊かな学生生活を実現に向けて実践することができる。

授業の概要

各自の体力に合わせ、楽しくリズミカルに且つ積極的に軽スポーツを行う。人格形成の見地より、仲間と協力して準備・片付けを行い、運動を通してコミュニケーション能力を高める。また、それぞれがリーダーシップを発揮し、主体的に運動と関わるようにする。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修
1	・オリエンテーション ・リズム運動及びフットワークを行い、軽スポーツを楽しむ	シラバスの内容を確認しておく	フットワークを整理しておく
2	・リズム運動で体をほぐす ・自身の体力に合わせてウォーキングを行う／屋外活動 ・手具を使った運動を楽しむ	ウォーキングによる効果を調べておく	使った部位のストレッチを行う
3	・ラジオ体操第一を効果的に行う ・巧緻性を高めるフットワークを行う ・手具を使った運動を考え実践する	ラジオ体操第一の効果について考えておく	ラジオ体操第一の効果を復習する
4	・ラジオ体操第二を効果的に行う ・リズム運動で体をほぐす ・バドミントンのラリーを楽しむ／屋外活動	ラジオ体操第二の効果について考えておく	ラジオ体操第二の効果を復習する
5	・ラジオ体操第三を効果的に行う ・フットワークを考え実践する ・バドミントンのラリーが続くよう工夫する／屋外活動	ラジオ体操第三の効果について考えておく	ラジオ体操第三の効果を復習する
6	・屋外活動 ・基礎代謝が高まるウォーキングを楽しむ ・伸び伸びと全身運動	基礎代謝について調べておく	基礎代謝と運動についてまとめる
7	・ラジオ体操を効果的に行う ・リズム運動を考え実践する ・バドミントンダブルスのゲームを楽しむ／屋外活動	ラジオ体操の効果について確認しておく	ラジオ体操第一～三を通しての効果をまとめる
8	・ラジオ体操を効果的に行う ・体幹トレーニングを行う ・手具を使ったグループゲームを楽しむ	体幹トレーニングについて調べておく	体幹を鍛えるための有効な運動についてまとめる
9	・屋外活動 ・基礎代謝が高まるウォーキングを実践する ・伸び伸びと全身運動を楽しむ	基礎代謝と運動について確認しておく	ウォーキング後のストレッチを十分に行う
10	・ストレッチ ・有酸素運動とは ・有酸素運動にチャレンジ	有酸素運動について調べておく	有酸素運動の効果をまとめる
11	・ラジオ体操第一通して静的ストレッチを実践する ・有酸素運動をする ・ゲーム性のある運動で調整力を養う	ラジオ体操第一を通して得られるものを考えておく	静的ストレッチについてまとめる
12	・ラジオ体操第二を通して動的ストレッチを実践する ・有酸素運動を楽しむ ・クールダウン	ラジオ体操第二を通して得られるものを考えておく	動的ストレッチについてまとめる
13	・ラジオ体操第三のやや複雑な動作が説明できるようになる ・グループ毎に長縄跳びを楽しむ	ラジオ体操第三を通して得られるものを考えておく	使った部位のストレッチを行う
14	・ストレッチ ・体幹トレーニングを考え実践する ・長縄跳びでグループ毎の課題にチャレンジする	よりよいグループ活動について考えておく	課題を整理しておく
15	・フットワーク、リズム運動を行い、軽スポーツのまとめをする ・課題について、グループ発表をする	課題発表の準備をする	半期の学修を振り返りまとめる

教科書・テキスト等

参考書・参考資料等　適宜、資料・プリント配付

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
期末テスト(実技)	40%	個別の習熟度
課題	40%	課題への取り組み
平常点（取り組み）	20%	体力を把握した積極的な取り組み

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L1C19 体育実技ⅡＢ	長江　美佳	単独	１単位	音楽学科・未来創造学科 １年次	後期	必修	必修	必修	選択必修	ＡＢＣＤＥＦ

授業のテーマ及び到達目標

ダンスの基本的技術・知識を身に付け、音楽に合わせて仲間と一緒に踊り、ダンスの創作・発表ができるようになる。

授業の概要

自分自身の体力を知り、ダンスの種類を知る。人間形成・人格形成といった視点に立ち、ダンスを通して、仲間と協力し準備・運動をしながらコミュニケーション能力を養う。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
1	オリエンテーション リズムトレーニング	シラバスを熟読する	本時で学び得たことをまとめる	9	ストリートダンス ジャンル③-2	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる
2	リズムトレーニング	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	10	ストリートダンス ジャンル④-1	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
3	リズムトレーニング	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	11	ストリートダンス ジャンル④-2	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
4	ストリートダンス ジャンル①-1	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	12	まとめ 振付け	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
5	ストリートダンス ジャンル①-2	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	13	まとめ 振付け練習	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
6	ストリートダンス ジャンル②-1	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	14	まとめ 振付け練習	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
7	ストリートダンス ジャンル②-2	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	15	発表 まとめ	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる
8	ストリートダンス ジャンル③-1	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる				

教科書・テキスト等

参考書・参考資料等

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
期末試験	80%	学んだ成果を十分に発揮しているか
平常点（態度）	20%	意欲的に練習に取り組んでいるか

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
マンガアニメ学概論	橋本　博	単独	２単位	音楽学科・未来創造学科 １年次	前期	※				ＡＢＣ

授業のテーマ及び到達目標

声優になる為には技術を身につけるだけではなく、身につけておくべき「教養」が何よりも必要である。例えば、マンガが母体となってアニメ、ゲームを生み出し、そこに声優という仕事が登場してきた背景を知ることは声優の立ち位置を知る上で不可欠である。これまでどんな声優が活躍してきたのか、声優に求められている役割はどう変化してきたのか、これから声優業界はどうなっていくのかといった幅広い知識が支えとなり声優として成長していくものである。四年制大学ならではの教養を身につけさせることがこの授業のめざすところである。

授業の概要

この授業ではまず戦前から現在までのマンガの歴史をさまざまなエポックを通して振り返ってみることから始める。次にマンガとほぼ連動する形で発展してきたアニメの歴史を追っていく。更に産業としてのマンガ、アニメがどのような発展を遂げ、どのような経済的効果、社会的効果をもたらしてきたかを検証する。合わせて熊本とマンガの関係、声優が社会で果たしてきた役割などをみていく。授業開始前には「私の推しマンガ・アニメ」というテーマで全員にプレゼンを行わせ、声優に必要な発言力、表現力、質問力などのスキルアップを目指す。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
1	日本マンガ全史① 戦前、戦後復興期	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく	9	日本アニメ史② ディズニーと国産アニメ、空前のアニメブーム	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく
2	日本マンガ全史② 月刊、週刊少年少女誌	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく	10	日本アニメ史③ 1995年の転換期、グローバル化、アニメ大国	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく
3	日本マンガ全史③ 劇画、青年誌、ジャンプの時代	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく	11	熊本とマンガ② 「マンガ県くまもと」を目指して	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく
4	日本マンガ全史④ 海外でのマンガ、メディアミックスとアニ	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく	12	マンガ、アニメ産業論② ウェブトゥーンは世界を席巻するか	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく
5	日本マンガ全史⑤ 海外でのマンガ、ゼロ年代、電子時代	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく	13	声優学①　声優列伝	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく
6	熊本とマンガ①　ワンピース、夏目友人帳 ワンピース、夏目友人帳、コンテンツツーリズム	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく	14	声優学②　声優というお仕事	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく
7	マンガ、アニメ産業論① マンガ、アニメ産業の全体像	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく	15	全体振り返り	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく
8	日本アニメ史① 前史、明治・大正・昭和前期	テキストを事前に読むこと。プレゼン担当者の発表準備	その日の授業の内容をA4一枚にまとめておく				

備考
※声優コース必修

教科書・テキスト等　日本マンガ全史(平凡社新書)，日本アニメ史(中公新書)

参考書・参考資料等

成績評価基準

評価方法	割合(%)	評価のポイント
プレゼン	50%	発表者の熱量の高さ
授業	50%	集中度、質問力の高さ

科　目　名	担　当　者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L2T20 英語	栗林　圭子	単独	２単位	音楽学科 １年次	前期	選択必修			選択必修	ＡＤＥ

授業のテーマ及び到達目標	授　業　計　画						
日常生活の中でよく起こる場面を、基礎的な文法事項を含んだ重要表現を繰り返し練習し、シンプルな英語でコミュニケーション出来る基礎を身につける。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
	1	Welcome to L.A. be動詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit1	9	Moving Day 前置詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit9
	2	I love Fruit! 可算名詞・不可算名詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit2	10	A Beautiful View 現在完了	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit10
	3	Campus Life 一般動詞（現在時制）	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit3	11	Sunday Fun 比較	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit11
	4	Lunchtime 代名詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit4	12	Seeing Stars WH疑問文	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit12
授業の概要								
夏のロサンゼルスを舞台に4人の若者が繰り広げる様々な場面の映像を通じ、実践的な英語を身につけるために、身近な語彙を増やし、発信に必要な基礎を確かにする。	5	First Date 一般動詞（過去時制	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit5	13	Buying Food for a BBQ 動名詞・不定詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit13
	6	Where's Linda? 進行形	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit6	14	Putting on a New Face 接続詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit14
	7	Andy's News will / be going to	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit7	15	Nice Surprises 受動態	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit15
	8	Shopping in Santa Monica 助動詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit8	備考 ※卒業要件として、英語、英語コミュニケーション、ドイツ語より４単位必修			

教科書・テキスト等	We Love L.A.！（金星堂）
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント
	筆記試験	60%	学修内容の理解
	口述試験	20%	内容の充実、事項の理解
	平常点　態度・行動観察	20%	授業への取り組み方など

科　目　名	担　当　者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L2C21 英語コミュニケーション	栗林　圭子	単独	２単位	音楽学科 １年次	後期	選択必修	必修		必修	ＡＤＥ

授業のテーマ及び到達目標	授　業　計　画						
身近なトピックについての語句や表現の基礎演習、パラグラフライティングを行い、情報伝達、自分の考えの説明を英語で人前でプレゼンテーションすることができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
	1	英語のスピーチのポイント スピーチの構成＆態度	シラバスを熟読する	知らなかった単語を調べる。	9	事物を説明する2 私の好きな映画	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する
	2	自分について話す1 自己紹介	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する。	10	事物を説明する3 私の好きな本	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する
	3	自分について話す2 子供のころの思い出	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する。	11	意見を述べる1 私が英語を学ぶ理由	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する
	4	自分について話す3 私の尊敬する人物	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する。	12	意見を述べる2 高校生は制服を着るべきか	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する
授業の概要								
グローバル化が進む社会において、英語によって人前で情報を伝えたり、自分の考えを発表できるプレゼンテーション能力の基礎を身につける。基礎的な英文法と表現方法を学び、英語で自己表現をする英語力を身につける。	5	習慣・予定について話す1 週末の過ごし方	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する。	13	意見を述べる3 男女間で友情は成立するか	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する
	6	習慣・予定について話す2 長期休暇の予定	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する。	14	スピーチをする1 自分の好きなテーマを決め短い文章を作成する	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する
	7	習慣・予定について話す3 長期休暇の予定	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する。	15	スピーチをする2 文章を推敲し50語程度の文章にし暗記をする	スピーチに必要な資料等を準備する。	スピーチを暗記する。
	8	事物を説明する1 私の宝物	モデル英文中の知らない単語を調べ意味を理解する。	自分の作ったスピーチを繰り返し暗記し練習する。				

教科書・テキスト等	英語でショート・スピーチ(研究社)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント
	平常点（受講態度）	30%	授業への取り組み方など
	口述試験	70%	内容の充実、事項の理解

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L2T22 ドイツ語Ⅰ	岩佐　銘江	単独	2単位	音楽学科・未来創造学科 1年次	前期	選択必修			選択必修	ＡＢＣＤＥＦ

授業のテーマ及び到達目標

ドイツ語の響きに慣れ、正しい発音が出来るようになる。「聞く・話す・読む・書く」ことを通して文法を理解し、簡単な会話（挨拶や自己紹介）が出来るようになる。

授業の概要

日常的な会話や基本的な文法の学習と、ドイツ語圏の歴史や文化を通して、多面的にドイツ語の理解力・実践力を養います。また、西洋音楽の理解を深めるために、ドイツ語と音楽の視点からもドイツ語に触れて行きます。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
1	ドイツ語の発音、挨拶の言葉、数字	シラバスを読む	挨拶の言葉を言えるようにする	9	名詞の複数形 買い物の表現	L.4(名詞の複数形)を読む	名詞の複数形に慣れる 買い物の表現に慣れる
2	人称代名詞と規則動詞の現在人称変化自己紹介をする。ドイツの民謡	L.1(人称代名詞、規則動詞)を読む	規則動詞の人称変化に慣れる。自己紹介ができる	10	冠詞の種類と用法について （定冠詞類、不定冠詞類） 欲しいものを伝える	L.4(冠詞類)を読む	冠詞類の用法に慣れる
3	sein, haben動詞の人称変化。語順について名前や出身地を尋ねる	L.1(sein, haben)を読む	sein, haben動詞の人称変化と語順に慣れる	11	否定冠詞keinと否定副詞nicht。 ユーロについて ウィーンの音楽	L.4(keinとnicht)を読む	keinとnichtの用法に慣れる
4	名詞の性と冠詞。職業や専攻を表現するドイツの国について	L.2(名詞の性・冠詞)を読む	名詞に慣れる	12	L.3,4の復習 前置詞の種類	L.5(前置詞の格支配) を読む L.3,4の復習	前置詞を理解する L.3,4の復習
5	名詞の格変化、ドイツの歌曲	L.2(名詞の格変化)を読む	名詞と冠詞の格変化に慣れる	13	前置詞の格支配 道順を尋ねる	L.5(前置詞の格支配)を読む	前置詞の用法に慣れる 道順を言えるようにする
6	L.1,2の復習 不規則変化動詞の現在人称変化	L.3(不規則動詞)を読むL.1,2復習	不規則変化動詞に慣れる L.1,2復習	14	前置詞と定冠詞の融合形 ドイツ語の音楽	Lektion5(前置詞の格支配)を読む	前置詞の用法に慣れる L.5の復習
7	命令形 趣味について語る	L.3(命令形)を読む	命令形に慣れる 趣味を語れるようにする	15	L.1～5の復習・まとめ	L.1～5の復習	L.1～5の復習
8	人称代名詞の3格と4格 非人称es。趣味を尋ねる ドイツ語の音楽	L.3(人称代名詞、非人称es)を読む	人称代名詞と人称esに慣れる	備考 ※卒業要件として、英語、英語コミュニケーション、ドイツ語より４単位必修			

		成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント
教科書・テキスト等	「アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語 Deutsch A-Z」 (朝日出版社)		定期試験	70%	筆記試験
			平常点	30%	提出物や授業への取り組み。小テスト。
参考書・参考資料等					

科　目　名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L2T23 ドイツ語Ⅱ	岩佐　銘江	単独	2単位	音楽学科・未来創造学科 1年次	前期	選択必修			選択必修	ＡＢＣＤＥＦ

授業のテーマ及び到達目標

「聞く・話す・読む・書く」ことを通して、初級文法を一通り理解する。語彙を増やし、正しい発音で、日常の出来事（予定や体験など）を語れるようになる。

授業の概要

ドイツ語Ⅰに引き続き、日常的な会話や基本的な文法の学習と、ドイツ語圏の歴史や文化を通して、多面的にドイツ語の理解力・実践力を養います。また西洋音楽の理解を深めるために、ドイツ語と音楽の視点からもドイツ語に触れていきます。

授　業　計　画

回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
1	話法の助動詞の種類と現在人称変化 場所を尋ねる表現	シラバスとL.6(話法の助動詞)を読む	話法の助動詞を理解する	9	非分離動詞 週末の予定を語る	L.8(非分離動詞)を読む	非分離動詞の用法に慣れる
2	話法の助動詞を用いた表現 ドイツ語圏の音楽祭	L.6(話法の助動詞)を読む	話法の助動詞の用法に慣れる	10	zu不定詞 ドイツの食文化	L.8(zu不定詞)を読む	zu不定詞の用法に慣れる
3	未来形 やってみたい事を伝える	L.6(未来形)を読む	未来の助動詞werdenの用法に慣れる	11	L.7,8の復習 動詞の3基本形 ドイツ語圏のコンサート	L.9(動詞の3基本形)を読む L.7,8の復習	動詞の3基本形に慣れる L.7,8の復習
4	従属の接続詞と副文 ドイツ語圏の国について	L.6(従属の接続詞と副文)を読む	従属の接続詞を使って副文を作れるようにする	12	現在完了形 週末の出来事を語る	L.9(現在完了形)を読む	現在完了形の用法に慣れる
5	時刻の表現 天候について語る ドイツ歌曲と詩	L.6(時刻の表現)を読む	時刻の表現に慣れる	13	過去形 ドイツ語の音楽用語	L.10(過去形)を読む	動詞の過去形と過去人称変化に慣れる
6	L.6の復習 形容詞の使い方と格変化	L.7(形容詞の格変化)を読む L.6の復習	形容詞の用法を理解する L.6の復習	14	再帰代名詞と再帰動詞 ドイツの文化 L.9,10の復習	L.10(再帰動詞)を読む L.9,10の復習	再帰動詞の用法を理解する L.9,10の復習
7	形容詞・副詞の比較 レストランで注文する時の表現	L.7(形容詞・副詞の比較)を読む	比較表現に慣れる	15	L.6～10の復習・まとめ	L.6～10の復習	L.6～10の復習
8	分離動詞 クリスマスの音楽	L.8(分離動詞)を読む	分離動詞の用法に慣れる	備考 ※卒業要件として、英語、英語コミュニケーション、ドイツ語より４単位必修			

		成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント
教科書・テキスト等	「アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語 Deutsch A-Z」 (朝日出版社)		定期試験	70%	筆記試験
			平常点	30%	提出物や授業への取り組み。小テスト。
参考書・参考資料等					